

2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月10日

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 3097 URL <https://www.monogatar.i.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加治 幸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務・成長戦略担当 (氏名) 津寺 毅 TEL 0532-63-8001
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績（2018年7月1日～2019年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	44,050	12.7	3,131	9.8	3,759	17.9	2,319	16.0
2018年6月期第3四半期	39,065	18.1	2,851	58.0	3,188	46.8	1,998	40.1

（注）包括利益 2019年6月期第3四半期 2,311百万円（15.0％） 2018年6月期第3四半期 2,008百万円（42.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	385.51	384.11
2018年6月期第3四半期	332.58	331.18

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	32,945	17,089	51.6
2018年6月期	29,735	15,267	51.0

（参考）自己資本 2019年6月期第3四半期 17,003百万円 2018年6月期 15,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2019年6月期	—	45.00	—	—	—
2019年6月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,432	15.9	3,949	17.6	4,400	13.8	2,742	14.9	456.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期3Q	6,020,382株	2018年6月期	6,013,272株
② 期末自己株式数	2019年6月期3Q	881株	2018年6月期	822株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期3Q	6,016,683株	2018年6月期3Q	6,009,718株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT Dnetで同日開示しています。

(日付の表示方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦の激化や中国の景気減速懸念等、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの継続等の影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、消費回復の傾向が見られるものの、原材料価格の高止まりや、人手不足を背景とした人件費の上昇に加え、地震や台風などの自然災害による売上高への影響により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、郊外ロードサイドの好立地への積極的な出店を進めるとともに、既存店舗のリニューアルや、外装デザインの刷新、新メニュー開発など、店舗の収益改善に向けた施策を進めました。また、当社グループ店舗で使用する液体調味料の製造工場「物語フードラボ」の設立準備を進めました。さらに、人材の採用や教育面の強化、新業態の開発、世代交代と業務執行体制の一層の強化を目的とした機構改革を実施し、中長期的な成長の実現に向けた基盤づくりにも、引き続き取り組みました。

上述の取り組みにより、国内既存店の売上高は、直営店においては前年同期比1.3%増、フランチャイズ店においては前年同期比0.1%増と堅調に推移しました。

新規出店につきましては、当社グループ全体で、直営店（国内）16店舗、フランチャイズ店（国内）11店舗、海外に4店舗の出店を実施した結果、当第3四半期連結会計期間末における当社グループ店舗数は495店舗（直営店265店舗、フランチャイズ店214店舗、海外16店舗）となりました（後掲表1）。

以上の結果により、売上高は44,050,778千円（前年同期比12.7%増）、営業利益3,131,547千円（前年同期比9.8%増）、経常利益3,759,540千円（前年同期比17.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,319,483千円（前年同期比16.0%増）となりました。

（注）国内既存店とは、18ヶ月以上開店している国内の店舗を対象としております。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況については、当社グループの事業は単一セグメントでありますので、その概況を部門別に示すと次のとおりであります。

①焼肉部門

当第3四半期連結累計期間中において、「焼肉きんぐ」は12店舗の出店（直営店6店、フランチャイズ店6店）を実施しました。これにより、焼肉部門の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は229店舗（直営店138店、フランチャイズ店91店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は22,471,648千円（前年同期比10.8%増）となりました。

②ラーメン部門

当第3四半期連結累計期間中において、「丸源ラーメン」は8店舗の出店（直営店4店、フランチャイズ店4店）、「きゃべとんラーメン」は2店舗の出店（直営店2店）を実施しました。これにより、ラーメン部門の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は142店舗（直営店53店、フランチャイズ店89店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は5,485,937千円（前年同期比20.0%増）となりました。

③お好み焼部門

当第3四半期連結会計期間末におけるお好み焼部門の店舗数は40店舗（直営店20店、フランチャイズ店20店）であります。

以上の結果により、直営店の売上高は1,905,647千円（前年同期比6.2%減）となりました。

④ゆず庵部門

当第3四半期連結累計期間中において、「寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵」は5店舗の出店（直営店4店、フランチャイズ店1店）を実施しました。これにより、ゆず庵部門の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は65店舗（直営店51店、フランチャイズ店14店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は7,989,926千円（前年同期比20.1%増）となりました。

⑤専門店部門

当第3四半期連結会計期間末における専門店部門の店舗数は3店舗（直営店3店）であります。

以上の結果により、直営店の売上高は779,495千円（前年同期比1.3%増）となりました。

⑥フランチャイズ部門

主にフランチャイズ加盟店舗からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料等であります。当第3四半期連結累計期間中にフランチャイズ店11店舗の出店を実施しました。当第3四半期連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は214店舗となりました。

以上の結果により、売上高は2,999,455千円（前年同期比6.7%増）となりました。

⑦その他部門

主に連結子会社である物語（上海）企業管理有限公司による取組みであります。
売上高は2,418,668千円（前年同期比23.4%増）となりました。

表1 「部門別店舗数の状況」

(単位：店)

	直営（国内）	F C（国内）	海外	2019年3月末 店舗数
焼肉部門	138	91	—	229
ラーメン部門	53	89	—	142
お好み焼部門	20	20	—	40
ゆず庵部門	51	14	—	65
専門店部門	3	—	—	3
その他部門	—	—	16	16
合計	265	214	16	495

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は32,945,937千円となり、前連結会計年度末と比較して3,210,690千円の増加となりました。これは主に現金及び預金が908,260千円増加したこと、売掛金が461,744千円増加したこと、設備投資により有形固定資産が1,261,697千円増加したこと、新規出店用地の契約により差入保証金が165,444千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は15,856,478千円となり、前連結会計年度末と比較して1,389,093千円の増加となりました。これは主に買掛金が772,531千円増加したこと、長期借入金が501,919千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は17,089,459千円となり、前連結会計年度末と比較して1,821,597千円の増加となりました。これは主に利益剰余金が1,808,162千円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は51.6%（前連結会計年度末は51.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の通期の業績予想につきましては、2018年8月10日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,491,227	6,399,488
売掛金	911,792	1,373,536
商品及び製品	296,741	307,228
原材料及び貯蔵品	65,986	61,279
その他	1,075,757	1,505,558
貸倒引当金	△303	△547
流動資産合計	7,841,202	9,646,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,457,824	15,211,977
その他(純額)	2,625,193	3,132,738
有形固定資産合計	17,083,017	18,344,715
無形固定資産		
	317,834	307,106
投資その他の資産		
差入保証金	3,647,561	3,813,006
その他	845,630	834,565
投資その他の資産合計	4,493,192	4,647,571
固定資産合計	21,894,044	23,299,393
資産合計	29,735,247	32,945,937
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,808,111	2,580,643
未払法人税等	1,042,574	544,023
株主優待引当金	21,723	33,775
賞与引当金	—	219,929
店舗閉鎖損失引当金	—	36,551
ポイント引当金	—	5,216
その他	4,994,556	5,290,567
流動負債合計	7,866,967	8,710,708
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	3,672,410	4,174,329
退職給付に係る負債	304,702	324,166
資産除去債務	401,163	428,603
その他	1,222,141	1,218,670
固定負債合計	6,600,417	7,145,769
負債合計	14,467,384	15,856,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,711,136	2,719,616
資本剰余金	2,576,308	2,584,788
利益剰余金	9,913,330	11,721,492
自己株式	△1,293	△1,899
株主資本合計	15,199,482	17,023,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,857	3,407
為替換算調整勘定	△3,845	△18,792
退職給付に係る調整累計額	△7,986	△4,983
その他の包括利益累計額合計	△6,974	△20,367
新株予約権	62,983	67,979
非支配株主持分	12,369	17,848
純資産合計	15,267,862	17,089,459
負債純資産合計	29,735,247	32,945,937

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
売上高	39,065,519	44,050,778
売上原価	13,567,641	15,211,696
売上総利益	25,497,877	28,839,081
販売費及び一般管理費	22,646,820	25,707,533
営業利益	2,851,056	3,131,547
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,800	12,606
受取賃貸料	11,520	10,020
協賛金収入	303,305	626,791
為替差益	25,178	—
その他	24,404	28,457
営業外収益合計	377,208	677,875
営業外費用		
支払利息	19,148	16,565
為替差損	—	15,288
賃貸収入原価	7,117	7,072
その他	13,444	10,955
営業外費用合計	39,710	49,882
経常利益	3,188,554	3,759,540
特別損失		
固定資産除却損	33,722	69,550
減損損失	111,151	146,403
店舗閉鎖損失	59,052	57,399
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	36,551
特別損失合計	203,926	309,905
税金等調整前四半期純利益	2,984,628	3,449,634
法人税等	983,204	1,124,578
四半期純利益	2,001,424	2,325,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,705	5,572
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,998,719	2,319,483

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	2,001,424	2,325,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,302	△1,449
為替換算調整勘定	18,360	△15,040
退職給付に係る調整額	△13,589	3,002
その他の包括利益合計	7,073	△13,487
四半期包括利益	2,008,497	2,311,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,006,031	2,306,090
非支配株主に係る四半期包括利益	2,466	5,478

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社は、飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。